

教師教育拠点として～本校の取り組み～

中村 晋

筑波大学の附属学校は、普通附属学校6校、特別支援学校5校の計11校が先導的な教育研究の成果を発信しながら、教員の指導力向上のための教師教育に積極的に取り組んでいます。

教員免許状更新講習では、他大学には例のない「附属学校実践演習」を開設し、授業実践に基づく研究協議や講義を通して実践モデルを紹介しています。毎年、キャンセル待ちが出るほど大塚特別支援学校の演習は人気があるようです。

この他、本学の教育研究の成果を広く社会に開放・発信し、一般市民の教養・文化の向上や職業や実際の生活に必要な能力の涵養に資することを目的にした大学主催の公開講座を開設しています。本校では、実践研究における教育成果を広く発信する場として積極的に活用し、学校研究の推進を図っています。今年は「教材・教具の活用と製作」や「社会性支援の実践」を紹介する講座が開設されています。どちらも講義に加え、ワークショップ形式の講座を展開し、実際に教材を作ったり、アセスメントに基づく指導計画を立案したりすることで、すぐに現場で役に立つ研修会を目指しています。



現場実習報告会 1/2

7月2日(水)10時30分から、体育館にて、高等部第1次現場実習の報告会が開かれました。1年生が司会進行を行い、2年生、3年生が授業で作成したプレゼンテーションを使って順番に発表しました。ひとり一人、目標について振り返りを行い、その後「大きな声で挨拶する」「最後まで集中して作業する」「正確にできるようにする」など、次の目標が述べられました。

小学部中学部の児童生徒も参加し、「質疑応答」の場面では「どんなところが難しかったですか?」「どうやって行ったのですか?」などの質問に高校生が一所懸命答えていました。

高等部の保護者だけでなく、小学部中学部の保護者も十数名出席して下さいました。ありがとうございます。



6・7月の行事

6月

2日(月)～13日(金)

高等部現場実習

11日(水)～13日(金)

小学部宿泊学習

(はな組つき組)

16日(月)サロン・ド・オオツカ

21日(土)教員免許状更新講習

7月

1日(火)開校記念日

2日(水)現場実習報告会

3日(木)学校説明会(中高)

8日(火)学校説明会(幼小)

9日(水)教育実習オリエンテーション

15日(火)給食終了

18日(金)終業式

6月は食育月間でした

食育キャラクター グランプリ発表！



みごとグランプリに輝いたのは
小学部3年生 作成「ごこくん」



「ごこくん」キャラクター人形
(栄養教諭作成)

7/14の給食は キャラクター誕生記念「五穀米」楽しみですね

*食育キャラクター入選作については「スマイルだより 6月号」をご覧ください

Q&Aコーナー



アフガニスタンからの研修生
日本の給食制度に驚嘆

大塚では保健給食部を中心に全教職員で、スマイルの時間や給食を教材とした食育の取り組みを行っています。今年は食育キャラクターも誕生し、ますます…。

Q:栄養教諭制度とは何ですか？

A:平成17年に、学校の食育を中核となって推進する栄養教諭が誕生し、今年で10年目になりました。栄養教諭は、食の専門家である管理栄養士・栄養士と、教師の資質を合わせ持つ教員制度です。同年7月には食育基本法が施行され、更に翌年3月には食育基本法具現化のために食育推進基本計画が策定され、学校においてもさまざまな食育が実践されています。

Q:栄養教諭の役割とは何ですか？

A:栄養教諭の役割は、子どもたちが将来にわたって健康に生活できるように、学校給食を活用して栄養や食事に関して指導教育し、「食に関する望ましい習慣や自己管理能力」を身に付けさせるとともに、他の教科、家庭、地域とも連携して食に関する啓発を行うことです。

Q:栄養教諭はどこの学校にもいるのですか？

A:栄養教諭は、平成26年度で国公立合わせて全国約32,400校に約5,100人の配置状況です。ちなみに東京都には64名で配置率は4.1%で全国ワースト1。配置率第1位は鹿児島県で約86.1%とのことです。

Q:食育月間とは何ですか？

A:国、地方公共団体、関係団体が協力して、重点的に食育の普及を行う取り組みです。内閣府が呼びかけています。今年の重点は以下の通り。

- 食を通じたコミュニケーション
- バランスの取れた食事
- 望ましい生活リズム
- 食を大切にする気持ち
- 食の安全